



第8回東職シネマカフェ

2015年 **4月22日(水)**

18:15 開場 18:30 開映 (終映 20:30 予定)

会場: **東京大学職員組合書記局**
(生協第二食堂3階)

16ミリフィルムで映す映画会です。
仕事帰りにいっぱい飲みながら、
ふだんは見られない記録映画を
楽しみませんか。
お友だちも一緒にどうぞ!

～春の宵のひとつときに映画でも見ませんか～

ワンドリンク (おつまみ付): 組合員 300円 一般 500円

【プログラム】

1) 「木を植えた男 The man who planted trees.」

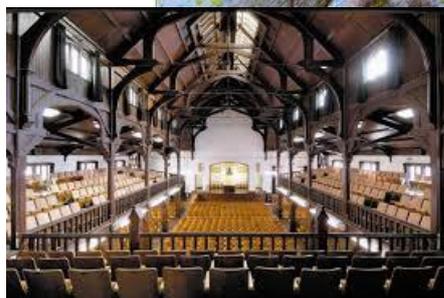
(アニメーション) 30分 カナダ

1987年、フレデリック・バックの監督・脚本で映画化された短編アニメーション。



2) 「建造物との対話 文京の文化財」

*退色あり 1980年 時枝俊江監督 34分



3) 「燃え上がる炎

一東大民主化闘争の記録」

1968～1969年 30分 全学連(全日本学生自治会総連合)の側から撮影した東大闘争の記録。

*東職書記局内で発見された映像資料。



主催: 東京大学職員組合 <http://tousyoku.org/>

お問い合わせ: 03-5841-7971

syokikyoku@tousyoku.org

【上映作品解説】

1) 「木を植えた男 The man who planted trees.」(アニメーション) 30分 カナダ

1987年、フレデリック・バックの監督・脚本で映画化された短編アニメーション。この年のアカデミー賞短編映画賞を受賞。翌年にはバックが描き下ろしたイラストを用いた絵本が発表され、現在も版を重ねている。複数の日本語訳がある。

原作は1953年にフランスの作家ジャン・ジオノの発表した短編小説。主人公である「私」が、アルザスの不毛の山地で黙々と檜の苗木を育てる羊飼いの老人エルゼアール・ブフィエと出会い、羊飼いの行為によって森が再生していく様子を回想する。原作はしばしばノンフィクションであると誤解されるが、完全なフィクションであり、実在しない土地や人物を描いたことを非難された原作者は、発表の翌年に著作権を放棄したという。

2) 「建造物との対話 文京の文化財」 *褪せあり

(記録映画 1980年 岩波映画製作所 時枝俊江監督 34分 16mm カラー 企画：文京教育委員会 語り：伊藤惣一)

文京区内に残る、あるいはかつてあった歴史的建造物を紹介。東大赤門、成瀬記念堂、吉祥寺経蔵など、外見だけではわからない、時代ごとの約束ごとや棟梁たちの心意気、建てた人々の願いや趣味……。そんな観点から文化財との対話を試みる。

3) 「燃え上がる炎 一東大民主化闘争の記録」

1968～1969年 30分 全学連(全日本学生自治会総連合)の側から撮影した東大闘争の記録。1968年1月10日に開催した秩父宮ラグビー場で全学集会(大衆団交)の様子も撮影、東大7学部の学生・教職員9千人が参加したという。大学・政府とともに全共闘との対立も描かれる。

* 東職書記局内で発見された映像資料。

[東職シネマカフェ上映履歴]

第1回 「JAPAN」

第2回 「おこんじょうり」、「絵図に偲ぶ江戸の暮らし 一吉左衛門さんと町の人々」、
「文京ゆかりの文人たち 一観潮楼をめぐる」

第3回 「南無一病息災」、「地蔵になった男」、
「ムカシが来た-横浜市長屋門公園古民家復元の記録」

第4回 「井上ひさし氏 小講演映像-国立大学法人化を考えるタベより」、
「グランパ すてきなおじいちゃん」、「彫る 棟方志功の世界」

第5回 「火宅」、「さよなら八丈小島」、「オイシサをつくる～はっこうの魅力」、
「東京タワーはわが息子(構造設計家・内藤多仲氏のインタビュー)」

第6回 「島の子どもの夏休み-太平洋の小島に生きる」、
「原子力発電 仕組みと安全性エネルギー安定確保のために」、「原発切抜帳」

第7回 「教室から消えた恩師たち(子どもたちの昭和史より)」、「石を架ける 石橋文化を築いた人」